果樹の殖やし方　～接ぎ木編～

（1）　接ぎ木の目的

①　環境への適応性

耐寒性、耐乾性など

②　病害虫の回避

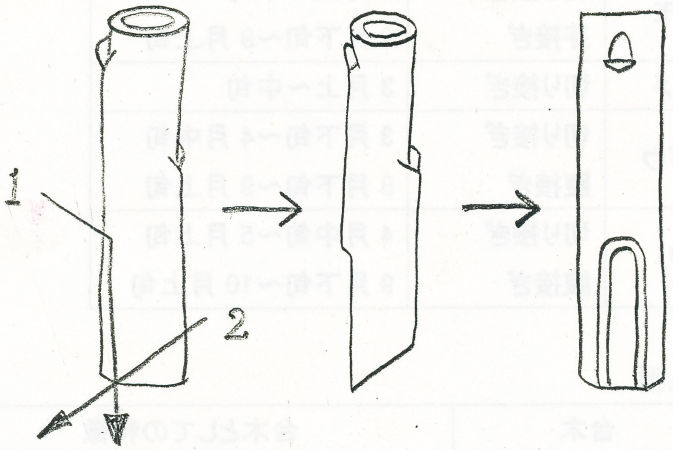
ネアブラムシ抵抗性など

③　樹勢と結果の調節

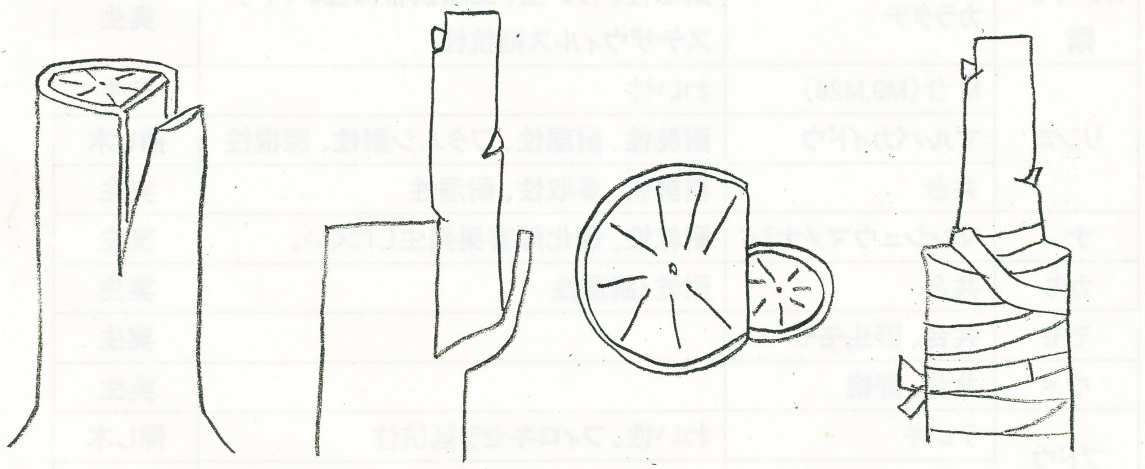
結果年齢の短縮、着果の促進

（2）　接ぎ木の方法（切り接ぎ）

①接ぎ穂の削り方



②台木の削り方および台穂の合わせ方



台木の削り方　　台穂の合わせ方　　形成層の合わせ方　　テープによる縛り方

＊台穂はしっかり密着させる

＊少なくとも片側の形成層合わす

＊台と穂をしっかり固定

（3） 果樹の接ぎ木適期

種類	接ぎ木方法	接ぎ木時期
カンキツ類	切り接ぎ	4月～5月上旬
	腹接ぎ	4月上旬～5月上旬
	芽接ぎ	8月下～9月
リンゴ	切り接ぎ	3月中～下旬
	芽接ぎ	9月中～下旬
ナシ	切り接ぎ	3月下旬～4上旬
	芽接ぎ	8月下旬～9月上旬
カキ	切り接ぎ	3月下旬～4月上旬
モモ	切り接ぎ	3月上～中旬
	芽接ぎ	8月下旬～9月上旬
ウメ	切り接ぎ	3月上～中旬
ブドウ	切り接ぎ	3月下旬～4月中旬
	腹接ぎ	8月下旬～9月上旬
クリ	切り接ぎ	4月中旬～5月上旬
	腹接ぎ	9月下旬～10月上旬

（4） 台木の品種

種類	台木	台木としての特徴	繁殖法
カンキツ類	カラタチ	耐寒性、わい星、土壌病害に強い、トリステザウィルス抵抗性	実生
リンゴ	M台（M9,M26）	わい性	実生
	マルバカイドウ	耐乾性、耐湿性、ワタムシ耐性、深根性	挿し木
	共台	樹勢強、多収性、耐湿性	実生
ナシ	マンシュウマメナシ	耐乾性、硬化障害果発生しにくい。	実生
カキ	共台	耐乾・耐湿性	実生
モモ	共台、野生モモ		実生
ウメ	共台、野梅		実生
ブドウ	テレキ	わい性、フィロキセラ抵抗性	挿し木
	イブリッドフラン	矯正、フィロキセラ抵抗性	挿し木
クリ	共台、野生柴栗		実生

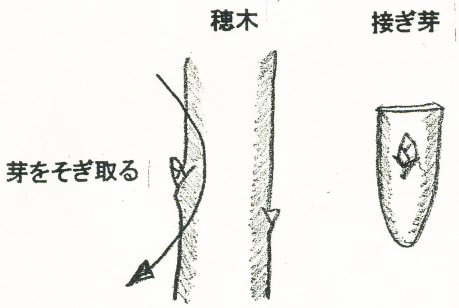
（５） 接ぎ木の種類

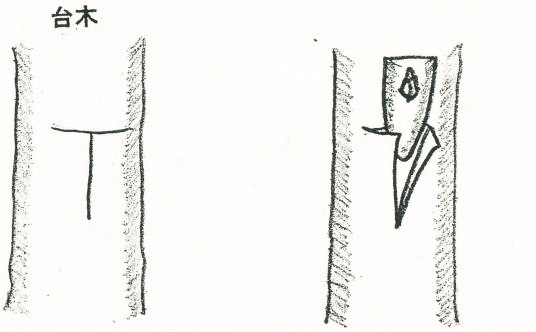
接ぎ木には、１ページの切り接ぎ法以外にも接ぎ木に用いる器官、接ぎ方によって、他にも多くの方法があります。以下、簡単に紹介します。

① 芽接ぎ

〈時期および方法〉

晩夏から秋にかけて行います。





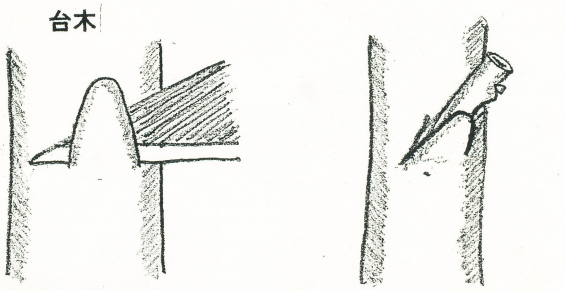
台木にＴ字型に切り目　　台木への接ぎ芽の挿入

② 腹接ぎ

〈方法〉



穂木の削り方



台木の削り方　　台木への接ぎ穂の挿入

③ 高接ぎ

〈方法〉

枝や幹の高所に切り接ぎする。

→主に品種更新をはかるために行う。